

令和4年度 根室振興局農村振興課安全パトロールを実施



函渠工施工のためのバックホウ床掘作業

安全パトロールには、建災防釧路分会の瀧場安全指導者（小針土建(株)総務部長）、根室振興局からは農村振興課長、各工事係長など6名が参加しました。現場事務所にて工事監督員、高玉・寺井JVの現場代理人より地区概要・現場管理状況の説明を受け、「保安対策」や「交通安全対策」など5つの点検項目について書類と現場の点検を行いました。

【実施現場】

農道整備（高度化型） 上風連北地区 61工区 （別海町）



作業計画書、立入の分離措置などを点検



冬期特有災害発生リスクへの注意喚起

令和4年11月24日（木）、根室振興局農村振興課が発注する工事現場で安全パトロールを実施しました。工事現場を直接視察し、建設工事の安全確保及び労働環境の改善を図ることを目的として、例年、実施しています。昨年からの取組として、より有意義なパトロールとなるよう、根室管内建設業協会のお力添え・ご助言もあり、建設業労働災害防止協会（建災防）にもご同行いただいたの実施となりました。

講評で農村振興課長からは「非出水期となり、函渠工などの河川工事が始まり、大型クレーンによる作業が本格化する。日没が日々早まり、寒さも厳しくなることから、普段はいつもできている安全確認に、改めて心がけて欲しい」と、無事故・無災害での完成に向け働きかけました。

また、建災防の瀧場安全指導者からは「墜落・転落災害の防止など、重点対策として現場で掲げられている事項について、小規模な落差に対しても昇降設備や安全柵など十分な対策がとられている」、「資材や作業機械など、整理整頓が行き届いている」など、種々の説明がありました。

工事の繁忙期を迎え、現場での労働災害事故が多くなる時期となります。労働災害撲滅に向け、事業者はもとより、すべての関係者が一丸となり、今一度、安全衛生活動の原点に立ち返った総点検と労働災害防止の徹底が必要です。

農村振興課では、農業農村整備事業の計画的な推進のためにも、毎年度、各工事現場が無事故・無災害で終われるよう、より一層の安全対策や安全衛生教育等の取組を積極的に進めていく考えです。